

造形通信

2025. 10月
NO.81
ひいらぎこども園

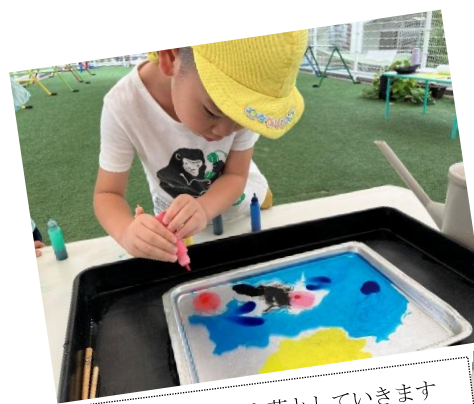
10月に入り、やっと秋の兆しが見え始めました。ほんのり涼しい風が吹き、待ちに待った秋の訪れです。山々が色づき、ゆっくりゆっくり秋の穏やかな時間が流れることを願います。

木々の葉っぱの色が変わり、花が咲き、秋の自然に触れ、子どもたちの活動が活発になる時です。たくさんの自然に触れ、様々な活動を十分に楽しんでほしいです。

マーブリングって面白い！

9月のフリータイムの一つはマーブリング。年中、年長の希望者が集まりました。あおぞらひろばで行いました。バットの上に水を入れ、そこに絵の具をポタ、ポタと落とします。ポトンと落とすと、パアッと水面に色の輪が広がります。「わあ、きれい。花火みたい！」次にまた違う色をポタッ、また違う色をポタッ！それから、細い棒をゆっくり回して、絵の具を混ぜていきます。「わあ。きれい。にじみたい！」次に、白い画用紙をそっと置いて、1, 2, 3。数えたら、そっと画用紙を引き上げます。「すごい、きれい。こんなになったよ。」とうれしそうにみんなに見せてくれます。

絵の具の量、混ぜ方などによって、さまざまな模様ができます。30人いれば、30通り。同じ作品はありません。自分だけの素敵な模様の出来上がりです。



好きな色の絵の具を落としていきます



細い棒でそっと混ぜていきます

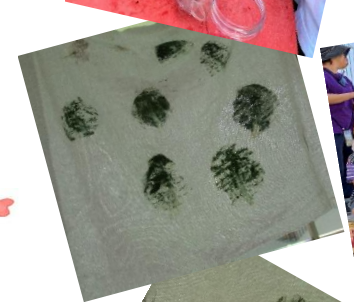


できあがって、ニンマリ！
「ゆうれい船みたいや！」

自分で体験することの大切さ！

自分でやってみることはとても楽しいです。はじめはどうするのかわからなくても、やってるうちにだんだんとやり方もわかってきます。自分でやってみるって大事なことです。その楽しさを実感することで、次への「意欲」が生まれます。

草木ぞめってたのしいな！



わくわくひろばに咲いている「あい」の花の葉っぱをとって、あいの葉の色染めをしました。葉っぱを取り、ビンに入れます。そこに少量の水を入れて、トントンとたたき、葉っぱの汁をだします。採った汁に布を入れ、しみこませます。十分しみこませたら、そっと引き上げ、布を絞ります。漬け込む前にゴムで布をくるくると何か所かくくったりもしました。ビンから布を引き上げ、ドキドキしながら布を広げると。「わあ、きれい！」と歓声があがりました。

採ってきたあいの葉っぱを布の下に置き、上から、木槌でトントンとたたいていきます。すると、葉っぱの形がうかびあがってきました。